

日程第2．一般質問

○議長（松尾徹郎君）

日程第2、一般質問を行います。

昨日に引き続き、通告順に発言を許します。

阿部裕和議員。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

阿部議員。〔2番 阿部裕和君登壇〕

○2番（阿部裕和君）

おはようございます。みらい創造クラブ、阿部裕和でございます。

発言通告書に基づき、1回目の質問をいたします。

1、道の駅「親不知ピアパーク」周辺整備及び地域資源の有効活用について。

今もヒスイ拾いの人気は衰えず、親不知海岸はヒスイを探しに来る方のにぎわっています。しかし、その観光客の多くがお土産や飲食など消費をせず帰ってしまうという課題を抱えています。

現在、国土交通省では「道の駅」第3ステージと位置づけ、「道の駅を核にした地方創生」を目指した取組を推進しており、親不知ピアパークの在り方についても思索するタイミングかと考えています。

日本海に面している魅力ある立地の親不知ピアパークを拠点とし、絶景のロケーションや地域資源を生かしたイベントや体験メニューを積極的に展開することで、交流人口の拡大や地域活性化に期待できると考えています。

以下伺います。

(1) ヒスイ拾いをはじめとした観光客の滞在時間の増加や消費を促すために、どのような取組をしているか伺います。

(2) ヒスイふるさと館やレンガトンネル等、周辺の施設や資源と連携した取組はしているのか伺います。

(3) 道の駅設置から年数も経過し、施設の老朽化も進んでいます。時代の変化とニーズを捉えた施設にするため、親不知ピアパーク周辺整備計画を策定し、取組を推進していくお考えはないか伺います。

(4) 親不知ピアパークの活性化のためには、どんな施策や取組が必要と考えているか伺います。

(5) 青海川ヒスイ峡の整備計画が今年度に策定され、来年度から整備を進めていく予定であったが、進捗状況を伺います。

2、翠ペイの利便性向上について。

2月1日から、デジタル地域通貨「翠ペイ」の運用がスタートしました。

1月31日現在において、加盟店が186店、利用申込者は当初見込みを下回る871名となっており、利用者と加盟店が増える取組を進めていかなければならないと感じています。

地域内経済の好循環や活性化のため、利用する方がお得感を得られる施策や利便性向上への取組、加盟することでお店もメリットを感じる施策を講じる必要があると考え、以下伺います。

- (1) 現金チャージをした際、チャージした分がマネーとして、チャージ額の1%がポイントとして付与されますが、マネー・ポイントともにチャージから半年後に失効してしまうのが現状です。利用者の利便性向上のため、現金チャージ分のマネーについては有効期限を撤廃する必要があると考えますが、いかがお考えでしょうか。
- (2) 第一弾のキャンペーンが終わりましたが、当初見込んでいた利用者数を下回っている状況であり、翠ペイを認知していない方も多くおられると考えます。利用者増加キャンペーンとし、チャージ時のポイント付与を15%にするなど、まずは利用者獲得のための取組を進める考えはないか伺います。
- (3) キャッシュレス決済において、利用できる店舗の多さは重要であり、加盟店をさらに増やしていくことが必要だと考えますが、今後どのような取組を展開していくか伺います。
- (4) 加盟店加入促進キャンペーンが終わると、ポイントを現金化する際に2%の手数料が発生します。それを見据え加盟しない店舗もあるのが現状です。キャンペーン終了後も手数料無料や、今よりも手数料を下げるなどのお考えがないか伺います。
- (5) 子ども誕生お祝い事業等で贈呈されている市内共通商品券も今後翠ペイに移行していく考えであるとのことだが、具体的にいつから施行していくお考えか伺います。

3、地域共助と情報共有による緊急災害時の対応について。

令和6年能登半島地震を受け、改めて緊急災害時の対応や備えの必要性を実感いたしました。また、大規模な災害が発生したとき、被害の拡大を防ぐためには、国や都道府県、市町村の対応（公助）だけでは限界があり、まずは自らの身は自らが守る行動（自助）とともに、ふだんから顔なじみの地域や近隣の住民が集まり、互いに協力し合いながら、地域のコミュニティで防災活動に取り組むこと（共助）が必要不可欠であると感じました。

津波を想定した場合、最短で5分以内に影響が出る可能性もあるとされており、行政と各関係機関が連携し、今後、緊急災害が起こった際に市民が迷うことなく、適切な行動を取れるよう情報共有していく必要があると考えますが、いかがお考えでしょうか。

以上、1回目の質問を終わります。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

米田市長。〔市長 米田 徹君登壇〕

○市長（米田 徹君）

おはようございます。

阿部議員のご質問にお答えいたします。

1番目の1点目につきましては、石を生かしたイベントを開催するとともに、魅力的な海産物の販売、食事の提供などに取り組んでまいります。

2点目につきましては、解説板やホームページ等で、周辺施設を紹介しているほか、定期観光バスの運行などを行っております。

3点目と4点目につきましては、現在、庁内委員会で施設の在り方などを検討しており、今後、ピアパーク周辺整備計画の策定に向けて取り組んでまいります。

5点目につきましては、今年度末の計画策定に向けて文化庁と協議を行っており、整備につま

しては、令和7年度以降の予定であります。

2番目の1点目につきましては、安心して利用いただけるよう運営する振興協議会において、期限撤廃のための資金決済に関する法律等の基準をクリアできるよう検討いたしております。

2点目につきましては、普及促進に向けて効果的なキャンペーンを考えてまいります。

3点目につきましては、新たなキャンペーンや行政ポイントの付与による地元消費の促進を図ることで、加盟店の拡充に努めてまいります。

4点目につきましては、加盟店向けの説明会において、キャンペーン期間終了後は、換金手数料がかかることを説明しており、令和7年3月21日以降は手数料を徴収することといたしております。

5点目につきましては、子育て世帯が利用できる店舗を充実させることが必要と考えており、加盟店の拡充を進める中で、翠ペイによる給付が可能かどうか判断してまいります。

3番目につきましては、災害の種別や市内各地区に合った避難行動が取れるよう、日頃から関係機関と情報を共有し、調整していくことが重要であると考えております。

以上、ご質問にお答えいたしました。再度のご質問によりましては、所管の部・課長からの答弁もありますので、よろしくお願いたします。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

阿部議員。

○2番（阿部裕和君）

親不知ピアパークのほうからお願いいたします。

市内の海岸、主に押上から市振海岸において、多くの方がヒスイを探しに訪れています。その方々に市内で消費してもらうためにどうしていくのかという大きな課題がありますが、今回はテレビでも取り上げられ、今も多くの方が訪れている親不知海岸、ピアパーク周辺にスポットを当て、質問させていただきます。

2月10日に現地を私も見てきましたので、そのときのことも踏まえながら質問いたします。

この日は土曜日で時間帯も11時を過ぎた頃でしたが、海岸には人がいるものの、ピアパークを利用している人はまばらでございました。

また、施設内には浜焼きコーナーもありますが、カーテンが閉まっており、やっていない様子でした。あんこう祭等のイベント時にはやっていたかと思いますが、今ほど市長答弁でも、食事の提供というところであったんですけれども、こういうものは積極的に販売していったほうがいいんじゃないかなと思うんですけれども、販売する、しないの基準はあるんでしょうか。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

猪又青海事務所長。〔青海事務所長 猪又悦朗君登壇〕

○青海事務所長（猪又悦朗君）

おはようございます。

浜焼きコーナーの開設状況というふうに、ご質問と受け止めました。

浜焼きコーナーの開設状況としましては、お客様の多い夏季、夏場ですが、毎日営業していると

ということでございます。また、屋外であることから、冬季間につきましては、連休やイベント時の随時ということで開設しております。そのほか、春・秋等々の時期につきましては、土日を中心に開設しているものというふうに現在お聞きしております。

以上です。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

阿部議員。

○2番（阿部裕和君）

やはり来客が見込まれる土日にもやっていったほうがいいんじゃないかというふうに思いますし、具体的な内容については避けますが、各所より、各施設についての課題やご意見等をお聞きしております。その点については、市としても把握しているところとは思いますが、課題改善に向け、ピアパークに入っている指定管理者と対話はされているのでしょうか。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

猪又青海事務所長。〔青海事務所長 猪又悦朗君登壇〕

○青海事務所長（猪又悦朗君）

お答えいたします。

毎月、担当者がピアパークのほうに行っております。お客様からの要望、また、施設の状況、運営上での課題などを含めて、その際に指定管理者と課題を共有し、必要に応じて指導やら助言やらということを確認し合っているという状況であります。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

阿部議員。

○2番（阿部裕和君）

ピアパークには、複数の指定管理者が入っていますし、ピアパーク全体としての課題共有、課題というのもあると思います。そういうものをしっかりと共有して、戦略を立てた運営を望みたいと思います。

また、翡翠ふるさと館についてお聞きします。

以前の一般質問でも取り上げさせていただいて、その後、市長からも現地を見ていただいたというふうにお聞きしております。改善、大分されていたと思います。ありがとうございます。案内板の設置や気になっていた臭い等もなくなり、室内も明るく、展示物も明るい配色でよかったなというふうに思っていますが、改めて気づいた点を伺います。

施設内は、音楽もなく、無音で、私としては、いづらいなというふうにも感じました。

また、小滝川ヒスイ峡やフォッサマグナミュージアム等への市内観光の案内板は設置されているんですが、そこに置いてある102トンのヒスイが、どこから来たんだというのは、その紹介はあるんですけども、青海川ヒスイ峡の具体的な案内板というのがなかったように思ったんですけども、これはわざとなのか、やはり私は青海の者なので、現地のものを紹介して行って、市内にも広がっていくような動きができればと思うんですけども、今後の空間整備について、いかがお

考えでしょうか。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

猪又青海事務所長。〔青海事務所長 猪又悦朗君登壇〕

○青海事務所長（猪又悦朗君）

お答えいたします。

翡翠ふるさと館の機能、また、役割、快適な空間づくりなど、お客様から利用していただくという視点に立ちます魅力づくりにつきましては、先ほど市長答弁にもありましたけども、庁内委員会で検討してまいりたいというふうに考えております。BGMなどにつきましては、まずは試行、試すほうで考えております。また、研磨機などもございますが、こちらにつきましても庁内関係者と協議をしてまいりたいと考えております。

様々な提案、ご提案いただきまして、ありがとうございます。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

阿部議員。

○2番（阿部裕和君）

市長にお聞きいたします。

市長も現場を見られたと思うんですけども、改めてあの場所をどういった場所にしたいか、市内の観光にどうやって影響を与える施設にしていきたいかというのを感じられたか、お聞きします。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

米田市長。〔市長 米田 徹君登壇〕

○市長（米田 徹君）

お答えいたします。

今、ヒスイが県の石になって以来、非常に注目を浴びておりますし、皆さんもご承知のとおり、大阪・関西万博が開催されるわけですが、そこでも県と連携して、ヒスイを中心に対応していきたいとおっしゃる部分があるわけでありますので、ヒスイをやはり追い風として誘客の核に持っていきたい部分があるわけであります。そういう中で、102トンの石というのは、非常に魅力的であるわけであります。他にない魅力であるわけでありますので、それを中心として、やはりしっかりとした情報発信をしていきたいと思っている次第であります。

そういう中で、あそこはやはり一定の年数がたっておる部分があるわけでありまして、幾ら今改修しても、その時代を感じてしまう状況があるわけでありますので、何とかやっぱり払拭できるような改良していきたいなと思っております。

しかし、あの建物、石を入れてから建てた建物でございますので、そう簡単に変えられるものではございませんので、どう変えていけばいいのか、またどう、この新たな展開をしながら、注目を浴びるような施設に持っていきたいと考えておるわけでありますが、その辺を示していきたいと思っております。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

阿部議員。

○2番（阿部裕和君）

ありがとうございました。

今ほど青海事務所長のほうから研磨機という言葉があったんですけども、翡翠ふるさと館の中には石を研磨できる研磨機があり、これを活用できないかというふうに思っております。土日など、ピアパークを利用する人や来館が多く見込まれるときに、研磨機を動かして、目の前で研磨の実演をしたり、親不知海岸にヒスイ探しに来られた人の石を磨いたり加工したりと、そういったことはできないのかと思うんですけども、いかがでしょうか。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

猪又青海事務所長。〔青海事務所長 猪又悦朗君登壇〕

○青海事務所長（猪又悦朗君）

先ほど申し上げたとおり、せっかくある研磨機の設備、また、そういった展示の内容になっておりますので、そういったものは活用していきたいというふうに考えております。

しかしながら、先ほども申し上げましたけども、どのように今後行っていくのか、行けるのか、また、フォッサマグナミュージアムの活動内容等々を含めて、実施方法につきましては、庁内、また先ほど申し上げました関係者としっかりと協議をして、取り組めるものなら取り組んでいきたいというふうに考えております。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

阿部議員。

○2番（阿部裕和君）

現状の管理や運営、今後の在り方についても、管理されてる方と協議して進めていただきたいと思いますし、ピアパークを拠点とし、青海川ヒスイ峡やレンガトンネルなど、地域の資源を生かして市内観光につながる取組を推進、お願いいたしたいと思います。

次に、親不知ピアパーク周辺整備計画についてお聞きいたします。

令和4年9月の一般質問の際、ご答弁で、近隣施設と連携を図る時期であり、リニューアル計画に向け、地元や関係各所の意向確認する機会を設けたいというふうにありましたが、そういった機会は設けられたのか、進捗状況を伺います。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

猪又青海事務所長。〔青海事務所長 猪又悦朗君登壇〕

○青海事務所長（猪又悦朗君）

お答えいたします。

計画の策定ということで、市長答弁にもありました庁内委員会で利活用の方向性など、施設の在り方を検討していくことで、現在、動き始めたところであります。

したがって、現在のところ、地元、また関係各所への意向確認までには至っていないという

状況であります。今後、この周辺整備計画に向けた取組の中で、実施時期などを含め、検討してまいりたいというふうに考えております。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

阿部議員。

○2番（阿部裕和君）

親不知ピアパークは、和式トイレが多く、トイレが使いづらいというふうに現状もなっております。以前のご答弁では、早い段階で修繕を行っていきたいというふうにはありましたが、施設の老朽化もありますし、時代の流れにより、少しずつニーズも変化しております。改めて、現状の課題とニーズを把握し、今後の親不知ピアパークの在り方、どういった機能・目的を持った道の駅にしたいかということを確認にして、取り組んでいく必要があると思っております。

今ほど庁内委員会というふうにはありましたが、親不知ピアパーク周辺整備計画策定に向け、来年度は、どのような取組を行っていくか、具体的にお聞かせください。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

猪又青海事務所長。〔青海事務所長 猪又悦朗君登壇〕

○青海事務所長（猪又悦朗君）

トイレの対応、ピアパークの在り方の検討など、市といたしましても、議員のおっしゃるとおり、しっかりと取り組んでいかなければいけないというふうに考えております。

したがって、来年度、今もお話ありました、私どものほうからも説明してございます庁内委員会の議論をしっかりと深めていきたいというふうに考えております。これまでの議会でもお話をさせていただく機会もありましたが、高速道路の橋脚の耐震化補強工事が今後行われると、NEXCOのほうからお聞きしているところであります。そういった将来性を見ながら、動向を見ながら、注視しながら進めていきたいというふうに考えております。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

阿部議員。

○2番（阿部裕和君）

ぜひとも推進していただきたいと思っておりますし、それと同時に、ピアパークといえればこれとなるような、消費喚起につながる目玉づくりが必要だと思っておりますけれども、それについてはお考え、いかがでしょうか。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

猪又青海事務所長。〔青海事務所長 猪又悦朗君登壇〕

○青海事務所長（猪又悦朗君）

ピアパークの魅力につきましては、先ほど市長答弁にもありましたが、海産物の販売、食事の提供などの食、また加えて、ヒスイであるというふうに思っております。

先ほどより議員からもご提言いただいております浜焼きコーナーであったり、翡翠ふるさと館の

充実、魅力アップなどを含めて、サービスの充実や施設の充実をしっかりと、これをまず取り組んでいくということが重要なこととっております。

したがいまして、今後もこちらのほうを庁内委員会を含めましてしっかりと見直しをしていく、現地にも入りながら指定管理者と話を続けていくと、そういう取組が必要かと思っております。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

阿部議員。

○2番（阿部裕和君）

よろしくお願ひいたします。

次に、青海川ヒスイ峡についてお聞きいたします。

こちらのヒスイ峡は、教育・研究を目的としていますが、以前、今後、具体的な活用や整備については、国からの指導や整備計画策定委員会の中で、意見を聴きながら協議していくというふうにありました。こちらの整備について、早期着工を望みますが、具体的な活用や、こういった整備を進める方向で動いているのか、お聞かせください。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

嵐口文化振興課長。〔教育委員会文化振興課長 嵐口 守君登壇〕

○教育委員会文化振興課長（嵐口 守君）

お答えいたします。

主な活用であります。まず1つ目は、学校の屋外学習、そして地区公民館を中心となりますけれども出前講座、2つ目は、ジオツーリズムとして、3つ目は、大学、学会等の研究や調査であります。

先ほどの出前講座やジオツーリズムは、ほかの見どころとの連携を含んでおります。

次に、整備につきましては、駐車場、トイレ、監視カメラのほか、できる限り分かりやすいような案内看板を設置したいと考えております。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

阿部議員。

○2番（阿部裕和君）

青海川ヒスイ峡の整備は、地元の人も長年待ち望んでいる事業であります。散策路や散策コースの整備をはじめ、ヒスイ峡までの道や、現地までの分かりやすい案内板の設置、また十分な駐車場の確保、訪れた方が、ヒスイの魅力を感じ取れるような整備になるよう進めていただきたいと思います。

今ほどまた、屋外学習というのもあったんですけども、私も教育という点では、このヒスイ峡をどうやったら活用できるかなというふうに考えておりました。ヒスイの原石や様々な岩石の観察を青海川でやって、翡翠ふるさと館に行つて、今度、実際にヒスイに触れる。親不知海岸では、糸魚川が持つ多様な石というのに触れて、石のまぢを感じられるんじゃないかなというふうに思うんですけども、そういったものを生かしていつて、ヒスイ文化を次世代に伝承していく取組が必要

じゃないかなというふうに思うんですけども、いかがお考えでしょうか。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

嵐口文化振興課長。〔教育委員会文化振興課長 嵐口 守君登壇〕

○教育委員会文化振興課長（嵐口 守君）

お答えいたします。

各資源を有効に活用するという取組ではありますが、そう考えます。その中で、先ほどの出前講座ではありますが、近隣の文化財と併せたコースの設定も検討してまいります。

別の角度では、例えば青海地域ですと、ピアパーク、親不知海岸、市振駅舎、関所榎、寺地遺跡、そういったコースも考えられますし、ヒスイつながりでは、小滝川、フォッサマグナミュージアム、長者ヶ原考古館や長者ヶ原遺跡、さらには相馬御風までございます。多様なつながりとストーリーがございますので、全部まとめてできるかどうかあれですけども、試行錯誤しながら文化の伝承と継承に取り組んでまいります。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

阿部議員。

○2番（阿部裕和君）

前向きなご答弁、本当にありがとうございます。

糸魚川の貴重な文化遺産を次世代に引き継いでいくことが重要であります。本当に今ほどいろんな角度からお話ありましたが、ぜひとももっといいのいないか、いいのいないかというふうに試行していただいて、取組を推進していただきたいと思います。ありがとうございました。

次に、2番、翠ペイのほうに移ります。

翠ペイ、非常に苦戦しているんじゃないかなというふうに思っております。この翠ペイ導入目的の一つとして、市内経済の好循環による活性化が上げられると思います。改めて、翠ペイは、プレミアム商品券のデジタル版ではなく、通年で使ってもらうことを目的として取組を進めていかなければならないと考えていますが、市としては、改めてですが、何を目的に翠ペイを導入したか、お考えをお聞かせください。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

中村企画定住課長。〔企画定住課長 中村淳一君登壇〕

○企画定住課長（中村淳一君）

おはようございます。

お答えいたします。

一番の翠ペイ導入の目的は、地域内経済の循環、地元消費の促進というところであります。

また、コロナ禍において、キャッシュレス化というのも国でも推奨してまいりました。また、デジタル化というのも同様かと思っております。そういったところも含めて進めてまいりたいといったところから、導入してまいりたいというものでございます。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

阿部議員。

○2番（阿部裕和君）

市としては、翠ペイを使ってもらい、市内でお金を使っていただきたい。市内経済の好循環を生みたい。

一方で、利用する市民は、使えるところが少ない、お店側は、加盟するメリットが少ないと感じているのが現状であると思っております。お互いの思いを理解し、進めていく必要があると思っております。

導入から1か月と始まったばかりの事業であります。こうした状況を市としては現状、どう受け止めていますでしょうか。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

中村企画定住課長。〔企画定住課長 中村淳一君登壇〕

○企画定住課長（中村淳一君）

お答えいたします。

2月25日現在で202店舗の加盟店から加盟をしていただいております。加盟店の数は、運用開始の時点で200店舗を目指していきたく、説明会の中でも申し上げてまいりました。説明会の中では大変厳しいといえますか、なぜこれをやるんだと。今ほど議員おっしゃられたような質問を頂いたりする中で、いろいろな方から質問を頂いて、にもかかわらず、こういった数字に、加盟店の方からは本当に地域内経済の循環というところをご理解いただいて、ご加入いただいたのかなというふうには考えているところであります。

しかしながら、当初の加盟促進キャンペーンのほうは、今、議員おっしゃられるとおりの若干の苦戦をしているところかというふうに分析はしております。当初の目標よりも、おおむね会員数、利用者数のほうが伸び悩んで、4分の1程度といった状況でありますので、引き続き利用促進であったり、様子見というところもあったかと思っておりますので、もう少し利便性が高いんだということだとか、そういったところのPRに努める中で、利用者数、また、加盟店の数についても引き続き増えるように努めてまいりたいというふうには考えております。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

阿部議員。

○2番（阿部裕和君）

以前の一般質問でも取り上げさせていただいたんですけれども、翠ペイに現金をチャージすると、半年後にそのチャージした現金・マネーが、失効してしまうという現状について質問いたしました。今回の利用促進キャンペーンのようなプレミアムポイント、また、チャージ時の1%のポイント、今後、予定されている様々な行政ポイントについては、ボーナスポイントであり、現状どおり付与されてから半年で失効する期間限定ポイントとして扱って問題ないというふうに私も思っておりますが、現金のチャージ分、マネーですね、ここでいう、マネーは、失効することなく、残るようにしていかなければなりません。現状だと3万円キャンペーンで入れましたけど、半年後には、その

3万円が使わなければなくなってしまうという現状なんですよ。これをどうにかして撤廃しないといけないと思ってるんですけども、先ほどもご答弁でありましたが、資金決済法の縛りがあるというところなんですから、以前の答弁では、それをクリアして運用していきたいというふうな説明がありましたが、どうすればそれをクリアできるのか、また、現状でクリアできそうなのか伺います。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

中村企画定住課長。〔企画定住課長 中村淳一君登壇〕

○企画定住課長（中村淳一君）

資金決済に関する法律によりますと、利用者を保護するといったところが主な目的になっているというもので、法律でございまして、そのためには、こういった地域通貨などを発行する団体が法人化するなど、運営者側の組織・体制がしっかりしていること、整えるということが必要になってまいります。例えば加盟店への支払いに対する監査の体制ですとか、情報セキュリティ、また、コンプライアンスといった体制もチェック項目ということになってまいりますので、そういったところを既存の体制でどこまで整えられるのか、また、人員増加が必要なのかといったところも含めまして、新潟財務事務所、そこと協議を進めているところであります。市としても、何とか6か月の縛りといいますか、有効期限というのを撤廃する方向では取り組んでまいりたいというふうにご考えてございまして、クリアするべく協議を進めているところでございます。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

阿部議員。

○2番（阿部裕和君）

私の知る範囲の話であります。市民の方が翠ペイを利用しない理由として上げられるのが、今ほど話した、この失効することについてです。今ほど、前向きにやっていきたいというふうにお話ありましたが、改めて有効期限の撤廃に向けて、全力を注いでほしいと思うんですけども、姿勢をお聞かせいただければうれしいです。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

中村企画定住課長。〔企画定住課長 中村淳一君登壇〕

○企画定住課長（中村淳一君）

今ほども申し上げたように、市としては6か月の有効期限をなくすという方向で、経費ですとか人的体制といった様々な課題をクリアするように協会内でも調整してまいりたいというふうには考えております。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

阿部議員。

○2番（阿部裕和君）

ぜひともご尽力よろしく願いいたします。

今度、会員、翠ペイ利用者ですね、今現状、アプリのほうが、昨日のお話だと950人ほどに、利用者まで伸びていて、アプリが600ぐらい、カードが300、400手前ぐらいなのかなというふうに思っておりますが、アプリ会員の方には、今ほどのマネーであったりポイントが失効する前には、失効しますよという通知が行くようになっているというふうにあったんですけども、カードの方には、そういった通知というものはあるのでしょうか。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

中村企画定住課長。〔企画定住課長 中村淳一君登壇〕

○企画定住課長（中村淳一君）

カード会員につきましては、残念ながらアプリ会員のようなプッシュ通知といいますか、アプリですとスマホのほうに有効期限が来ますよといった通知があるんですけども、カード会員については、そのようなお知らせする方法というのはございません。残念ながらないので、振興協会のホームページなので、例えば2月にチャージした分であれば、7月に有効期限が来ますよといった形で周知はしていきたいというふうには考えているところであります。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

阿部議員。

○2番（阿部裕和君）

周知できますかね。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

中村企画定住課長。〔企画定住課長 中村淳一君登壇〕

○企画定住課長（中村淳一君）

残念ながら、カード会員の皆様方には、個人的に有効期限をお知らせするという手だてがないということが現状でございます。

したがって、協会のホームページなどを通じて周知を図ってまいるといったことに対応としてはなっているというものでございます。なるべく早めにお使いいただくですとか、そういった周知も事前にはできると考えておりますので、有効期限前にご利用いただけるような取組というものも、併せてやっていきたいというふうには考えております。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

阿部議員。

○2番（阿部裕和君）

私の思い込みだったら申し訳ないんですけども、カードタイプのほうが、ご年配の方が利用多いんじゃないかなというふうに思うんですけども、カードタイプの年齢配分とかというのはわかりますかね。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

中村企画定住課長。〔企画定住課長 中村淳一君登壇〕

○企画定住課長（中村淳一君）

申し訳ございません。全体の数字ということではちょっと把握はしておりませんが、一番多いところだと、そうですね、アプリも含めてなりますけれども50歳代が一番多くて、その次が60歳代、その次が40歳代といったところが利用者の層としては多いといったところになります。当初にお申し込みいただく段階でも、年齢層につきましては任意回答というふうな形にさせていただいておりますので、その点をご了解いただきたいというふうに思っております。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

阿部議員。

○2番（阿部裕和君）

特に、アプリ会員も考えられるんですけれども、カード会員の方においては、なおさら、自分の入れたお金がない、どうなってるんだというようなことが半年後に起こるんじゃないかなというふうに思っておりますので、先ほど来お願いしている有効期限の撤廃というのを、ぜひともよろしくお願いいたします。

続いて、(2)についてなんですけれども、今後もキャンペーンを打っていくということだったんですけれども、先日、第2弾キャンペーンの案内要項を見させていただきました。商工会の経済連ですかね、経団連が出してるものだったんですけれども、今回、その第2弾キャンペーンは、翠ペイの利用促進と、能登半島地震による飲食・宿泊業の消費喚起として1人3万円上限のプレミアム率は15%、今回対象となっているのは、飲食業、旅行業、宿泊業となっており、キャンペーンが開催されるのが、歓送迎会の時期であるため私も効果的だと思っております。

ですが、このキャンペーンを機に、今後、ほかの事業者、業態の人も相当ダメージを受けていると思うので、そういった方も対象とした利用促進キャンペーンを展開していくことを検討いただきたいんですけれども、いかがでしょうか。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

大西商工観光課長。〔商工観光課長 大西 学君登壇〕

○商工観光課長（大西 学君）

おはようございます。

お答えさせていただきます。

能登半島地震に対します経済対策と翠ペイへの普及促進に向け、今回、翠ペイアプリを活用しました事業を2つ計画しております。

詳細につきましては、予算の関係もあることから、3月6日に開催されます建設産業常任委員会で詳細のほうはお示ししたいなとは思っておりますが、一つは、今ほど阿部議員が説明いただいた事業でございます。糸魚川経済団体連絡協議会が予定しております、どちらかといいますと市民向けのプレミアムポイントを付与します市内消費喚起事業でございます。

もう一つは、今考えておるのは、糸魚川市観光協会によりまして国の北陸応援割キャンペーンに合わせて予定しております、電子クーポン等を付与します観光誘客事業でございます。

いずれにしても、利便性を向上させまして、翠ペイ等の利用促進を図ってまいりたいというふうに思っております。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

阿部議員。

○2番（阿部裕和君）

このキャンペーンの詳細を見ますと、アプリタイプの利用者のみを対象となっております。カードタイプの利用者は、キャンペーンに参加できないというふうにあります。アプリ利用者のみを対象とした理由はいかがなのか、お聞かせください。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

大西商工観光課長。〔商工観光課長 大西 学君登壇〕

○商工観光課長（大西 学君）

お答えいたします。

1つ目の市内消費喚起の事業につきましては、アプリのみを対象とした理由につきましては、4点ございます。

1点目は、やはりアプリ上でアナウンスができる、皆さんに通知することができて、タイムリーに経済対策が可能なこと。

2点目は、先の、誕生記念15%トクしちゃおうキャンペーンがありましたが、それは、どちらかといいますと高齢な方の利用率が高い食料品や日用品の購入が想定されておりました。今回のキャンペーンにつきましては、その利用者と異なる利用者層を考えておまして、対象業種がスマホの利用者が多い傾向にあるというふうにつかんでおります。

3点目につきましては、店舗側では、アプリ利用者が、初期投資がかからずに取り組みやすいなということです。

4点目につきましては、セブン銀行でのATMでは、カードタイプには複数の種類のマネーのチャージが、システム上できないという点がございます。

これらを考慮しまして、アプリのみとさせていただきました。

また、もう一つの観光誘客事業につきましては、基本的にターゲットは市外の方でございます。市民以外につきましては、カードの発行はしておりませんので、宿泊施設、現地での2次元コードの読み取り方式による機械的な制約になるものでございます。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

阿部議員。

○2番（阿部裕和君）

詳細にありがとうございました。以前の質問の中でもご答弁で、最初はカードから入っても、なるべくアプリへ移っていただきたいというふうな説明ありました。それになぞっての取組なのかなというふうに思っていたんですけれども、今現時点でも、アプリ会員が、特典が多く受けられるというのが特徴です。今後、カードからスマホアプリのほうに移っていただきたいというふうに現状

も思っていて、そういうふうな取組を進めるのであれば、そのことを明確にしていく必要があると思うんですけれども、いかがお考えですか。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

中村企画定住課長。〔企画定住課長 中村淳一君登壇〕

○企画定住課長（中村淳一君）

おっしゃるように、カードタイプについては、すいません、市長答弁の中でもお答えをさせていただいたように利用できる店舗が限られるといったところであったり、先ほどの有効期限の通知だったり、幾つかの場面でやはりデメリットというのが出てまいります。アプリ会員が増えることでお店側も、例えば決済端末を準備する必要はないだとか、また加盟する際のハードルというものが下がってくるのかなというふうには考えております。

国も進めておりますデジタル化、キャッシュレス化を進めるといった中でも、徐々にではありますけれども、議員おっしゃられるように、アプリ会員のほうに移行していただくような取組というのをやっていきたいというふうには考えております。

一応、ただ、デジタル化がなかなか進まないといった方もおられるので、当初の段階では、カード会員も準備させていただいて、なるべく多くの皆さんから翠ペイをご利用いただきたいといった趣旨で進めてまいったというものではございます。

以上です。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

阿部議員。

○2番（阿部裕和君）

カードからアプリに移ってお得キャンペーンみたいなのはどうですか。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

中村企画定住課長。〔企画定住課長 中村淳一君登壇〕

○企画定住課長（中村淳一君）

ちょっと即答はできませんけれども、そういったご提言ということで受け止めさせていただいて、協会のほうで、また、ご意見として検討させていただきたいというふうに思っております。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

阿部議員。

○2番（阿部裕和君）

次の質問にもつながるんですけど、今後、スマホ教室などを通じてやっていきたいというふうに、昨日、田原洋子議員の質問の中でご答弁あったんですけれども、講師となる人に対して、翠ペイの使い方講座、スマホ教室の中で翠ペイの使い方講座も考えていくというふうにご答弁あったんですけれども、講師となる人に対して、行政ポイントの付与等も考えていくのはどうかなというふうに思いました。翠ペイの利用者が簡単に使えるようにして、また統一した使い方というんですかね、

カードには通知行かないけどアプリには行くとかというのだとやっぱり今後トラブル出てくるのかなというふうに思いますので、本当にお年寄りが簡単に使えるように手を差し伸べていくというのも一つ、取組の一つかと思っておりますので、よろしく願いいたします。

次に、加盟店を増やしていく取組についてお聞きいたします。

加盟店は、ほぼ当初見込みの数字であるというふうにありましたが、私としては、市内共通商品券が使えるお店では、翠ペイが使えるように整備していただきたいと思っております。そのためにはどんな取組が必要だと考えていますでしょうか。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

中村企画定住課長。〔企画定住課長 中村淳一君登壇〕

○企画定住課長（中村淳一君）

当初の段階で、なかなかこの翠ペイという取組について、ご理解いただけた店舗については200店舗ほどあったというふうな理解をさせていただいておりますけれども、現段階では、やはり様子を見られているという店舗もあるのではないかとこのふうには感じております。引き続き利用促進に努めてまいりたいと思っておりますが、レジの、会計の際での一手間ですとか、基本的に店舗のPOSレジとの連動に費用がかかると、経費がかかるといったところで、今回の翠ペイの導入に至らなかったといったお話も聞いておりますが、引き続き加盟店から加入いただけるよう、理念の説明をさせていただきながら、普及促進を図ってまいりたいというふうには考えております。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

阿部議員。

○2番（阿部裕和君）

私の知る範囲であります。加盟店加入促進キャンペーンが終わったら、翠ペイの取扱いをやめると言ってるお店があったり、1年後には手数料が発生するから今も入らないんだよというお話も聞いております。手数料を下げる検討というのもしていただきたいと思うんですけれども、それが無理であるのなら、加盟店が手数料引かれても、それでも十分メリットと感じられる取組を推進していく必要があると思います。それはやっぱり利用者がお得と感ずることが、それ一つだと思うんですけれども、少なくとも翠ペイが市民に定着するまでは、継続したキャンペーンを連続で打っていく必要があると思うんですけれども、いかがお考えでしょうか。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

中村企画定住課長。〔企画定住課長 中村淳一君登壇〕

○企画定住課長（中村淳一君）

今ほどの換金手数料といったところかと思います。

令和7年の3月21日以降はご負担いただきたいといったことで、説明会の際にも説明させてまいってきております。加盟店の皆様には、キャッシュレス化ですとかデジタル化といったところを享受いただけるよう進めるとともに、そもそもの地域内経済の循環、地元消費の促進といったところを、ぜひともご理解いただけるように努めてまいりたいというふうに思っております。

今までおっしゃられたようにキャンペーンというのも効果的な利用促進、加盟店の増やす手だてになろうかと思っておりますので、引き続き今後も実施するように取組のほうは検討してまいりたいというふうに思っております。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

阿部議員。

○2番（阿部裕和君）

また、ほかからこういった意見聞かれてるかどうかはあれなんですけれども、加盟しない理由として、精算についてお話ありました。毎月、現状5日と20日の2回が精算のタイミングなんですけれども、今でもキャッシュカードを取り扱っていて、今後、翠ペイも導入すると月2回の精算だどお店が回らんというふうなお話あったんですけれども、例えば月3回の精算にすると、こういった負担が運営のほうで、市のほうですよ、市のほうで負担や課題が生じるのか、また、これについて改善できる余地があるのかどうか伺います。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

中村企画定住課長。〔企画定住課長 中村淳一君登壇〕

○企画定住課長（中村淳一君）

具体的に、その精算についてのご意見というのは、まだ、協会ですとか市役所のほうには、まだ届いてないといったところがございます。近々、また幹事会等もございますので、そういった中でも確認はしてまいりたいというふうに思っております。

そもそも精算の回数を2回とさせていただいたことにつきましては、協会内で議論する中で、金融機関さんでの手数料がかかるといったところを踏まえて2回という回数でスタートをさせていただいているものでございます。これから具体的に加盟店への振込手数料がどれぐらいかかったのだとか、また、どういう手間がかかったとかいったところが出てきて、それを検証するといった形になってまいりますので、そういったところも引き続き検証をして、協会の事務量といったところも改めて確認して、協会内のほうで、どのような対応が取れるのか、また取れないのかといったところも検討してまいりたいというふうに思っております。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

阿部議員。

○2番（阿部裕和君）

よろしく願いいたします。

この第2弾キャンペーンについてですが、商工会に入っている店舗には通達されているようですが、商工会に入っていない店舗にはどのように周知していくのか伺います。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

大西商工観光課長。〔商工観光課長 大西 学君登壇〕

○商工観光課長（大西 学君）

お答えさせていただきます。

先ほどご説明させていただきました2つのキャンペーンともに、現在3月6日の建設産業常任委員会でご報告後、一般向けの情報提供をする予定で準備のほうは進めさせていただいております。事業実施主体のホームページや市のホームページ、また、プレスリリース等でアナウンスをさせていただく予定としております。

また、市内消費喚起のキャンペーンにつきましては、対象業種は限られますが、参加店舗は随時申込みが可能でございますので、多くの店舗の皆様からご参加いただき、ご利用いただきたいというふうに思っております。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

阿部議員。

○2番（阿部裕和君）

私も多くのお店が入ってくれることを祈念しております。

また今後フレイル予防ポイントやボランティア参加に対してポイントを付与する行政ポイントを発行していく方針ではありますが、これについて積極的に推進のほうをしていただきたいと思います。

そういった取組の一つとして、健康増進の取組が一つ上げられると思います。市内にも健康増進を目的とした施設はびねすがありますが、現状、加盟店になっておりません。はびねすでも翠ペイが使って、利用した人は健康ポイントがたまる。そんな取組が必要であると考えますが、担当課として、お考えはいかがでしょうか。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

池田健康増進課長。〔健康増進課長 池田 隆君登壇〕

○健康増進課長（池田 隆君）

はびねすのほうに、具体的にそこら辺確認したことがありませんので、今お話を伺って、いま一度はびねすと話合いをしてみたいと思います。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

阿部議員。

○2番（阿部裕和君）

よろしく願いいたします。

続いて、（5）についていきます。

その翠ペイ第2弾キャンペーンの通知とともに、令和6年6月末をもって市内共通商品券の発行終了が発表されました。今後は、翠ペイによる贈答用のカードを発行すると書かれていましたが、このカードを子ども誕生お祝い事業対象者に贈呈していくのか、また、発行された利用者は、どのように使えるのか、贈答用のカードとはどういったものなのか伺います。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

中村企画定住課長。〔企画定住課長 中村淳一君登壇〕

○企画定住課長（中村淳一君）

お答えいたします。

贈答用のカードにつきましては、2次元コードが印刷された券になるというふうなところまで聞いておるところでございます。具体的に、こういうカードタイプになるのか、もう少し今までの商品券のような形のものになるのか、そういったところは、これから正式に決まってくるものというふうに思っております。それを翠ペイ加盟店舗で読み取っていただいて、翠ペイとして利用できるといったもので考えられているものというふうに聞いております。

子ども誕生お祝い事業等で使えないかといったところにつきましては、子供にかかる費用ですとか、生まれたお祝いといったところを達成できるようなチケットになるようなところが大切なんだろうなというふうに考えておりますので、子育て用品が購入できる店舗が加盟店であるかどうか、また、利用者数だとか、そういったところも勘案しながら庁内でも検討してまいりたいというふうには考えております。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

阿部議員。

○2番（阿部裕和君）

今ほど読み取るというふうにおっしゃったんですけれども、カードタイプが使えるお店じゃないと使えないような仕様になる感じなんでしょうか。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

中村企画定住課長。〔企画定住課長 中村淳一君登壇〕

○企画定住課長（中村淳一君）

企画としてはそのようなものになると。2次元コードが記載されていて、それを店舗側で読み取っていただくといったものになるというふうに考えております。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

阿部議員。

○2番（阿部裕和君）

カードタイプが使えるお店が少ない現状において、もう少し何ていうんでしょうかね。だと、なおさらやっぱりみんなにカードタイプが使えるようにお願いしていくしかないんじゃないかなというふうに思うんですけれども。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

中村企画定住課長。〔企画定住課長 中村淳一君登壇〕

○企画定住課長（中村淳一君）

阿部議員のほうで、子ども誕生お祝い事業のお祝い品として提供されるといったことでお考えだとすると、おっしゃるとおりなのかなというふうに思っております。

ですので、先ほど申し上げたように、どういう店舗で使えるのかといったところですか、そう

いうところを勘案しながら、お祝い事業に使う場合には検討が必要ということで考えているものでございます。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

阿部議員。

○2番（阿部裕和君）

子ども誕生事業、お祝い事業のほうは、お子さんの誕生を祝って、子育て世帯の負担軽減を目的としたいい事業だというふうに思っております。

昨日、嶋田課長のほうから答弁ありましたが、対象となる方々からは、子育てに必要なものを販売する、あのお店で使えればというふうなお話も複数頂いております。市としてもそういったご意見というのを把握していると思っておりますが、子育て世帯が望んでいるお店のあぶり出しと、そのお店と直接話をして、加盟してもらおうというような取組はいかがですか。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

中村企画定住課長。〔企画定住課長 中村淳一君登壇〕

○企画定住課長（中村淳一君）

議員からも以前からおっしゃっていただいているように、子供の医療品ですとか子育て関連の商品を取扱う店舗といったところ、また、それ以外にも大手のチェーン店なども、振興協会の中で手分けをする中で、それぞれ加盟の依頼というのを行わせていただいております。先ほども申し上げましたレジの手間ですとか、独自のキャッシュレス決済、POSレジなどがあってといったことから断られたといったケースもございますし、そもそもやはりチェーン店なんかですと、支店といえますか、その個別の店舗ではなかなか決めかねると。本部で検討するといった中で、加入を今の段階ではいただけてないといったところがあるものでございます。引き続き、加盟店の獲得に向けては、そういった取組を進めてまいるといって進めてまいりたいと思っております。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

阿部議員。

○2番（阿部裕和君）

翠ペイを使われている方からは、使えるお店が少ないといった声も頂いております。今ではネット注文で、通販であったり、市外に出かけたついでに買物をしたりする現状があります。大手のスマホ決済が普及する中、この翠ペイは、地域のみで使える地域通貨であり、ある種、郷土愛で成り立つものとも言えるかもしれません。より多くのお店に加盟してもらうことが利便性の向上につながりますが、糸魚川でしか食べられないものであったり、糸魚川でしか受けられないサービス、技術もあると思っております。そういったところにも視点を向けて、利用促進、加盟店を増やす取組を継続して行っていただきたいと思っておりますし、まずは、市役所職員の方が、現状950名といふことなんですけれども、市役所職員の方でも1,000名近くおられると思っております。まず、市役所職員が積極的に翠ペイを入れて、使ってもらふこと、併せて市内で消費してもらふことの重要性を市民と共有して、共通した認識を持った上で、この翠ペイ、取り組んでいく必要があると思っておりますの

で、そういったところもよろしくお願ひいたします。

続きまして、緊急災害時の対応について伺います。

今回、多くの議員の方が質問していますが、私からは、海沿いに住む住民の避難についてをお聞きしたいと思います。

私の場合、田沢小学校が最寄りの避難場所であり、避難所となっております。地震の当日、私も田沢小学校に避難いたしました。

田沢小学校は、海拔10メートルであり、ハザードマップでも津波の浸水がないとされていますが、住民のほとんどが、海に向かって避難することに違和感、不安を持っていることを実感いたしました。このほかにも市内には、海に向かって避難される地域の方もおられると思いますが、津波ハザードマップで浸水が想定されていないところは、津波による浸水はないと判断してよいのか、改めてお聞かせください。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

竹田消防長。〔消防長 竹田健一君登壇〕

○消防長（竹田健一君）

お答えいたします。

ハザードマップで色がついてない、浸水想定のない場所につきましては、100%大丈夫とは私の口からは言えませんが、シミュレーション上は浸水想定となっております。

また、津波避難ビル、田沢小学校、避難所並びに津波避難ビルですかね、になっていますが、海に向かっていくというのは、確かに心理的にどうかというところはあるのは私も承知しております。そんなところで、そういったところは近隣の住まいの方が高いところへ逃げるといったような考えで避難していただければというふうに考えております。

以上です。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

阿部議員。

○2番（阿部裕和君）

津波ハザードマップでは、浸水想定はないが、洪水ハザードマップでは、市内の河川沿線において、浸水が想定される場所もあります。津波ハザードマップについては、川を津波が遡上してくることも想定されたマップとなっているのか伺います。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

竹田消防長。〔消防長 竹田健一君登壇〕

○消防長（竹田健一君）

お答えいたします。

平成31年に発行されましたハザードマップにつきましては、姫川、海川、それから田海川、これが河川遡上をシミュレーションしたハザードマップになっておりますので、例えば田海川であれば、流域といいますか、川に近い地区が浸水する想定となっております。

以上です。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

阿部議員。

○2番（阿部裕和君）

今回、多くの方が高台を目指し、避難されました。中には、今ほどありました田海川や姫川の橋を渡って避難された方もおられました。大津波警報が出ている際に、この橋を渡る危険性については、いかがお考えでしょうか。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

竹田消防長。〔消防長 竹田健一君登壇〕

○消防長（竹田健一君）

お答えいたします。

今回の海岸部の聞き取り調査の結果、避難した場所を聞くと、確かに橋を通っていたなということで、例えば橋が地震により損壊していたり、あるいは津波が遡上してきた場合には、当然、避難経路としてはよろしくないのかなといったところで、そこにつきましては、各地区の皆さんと今後、適切な避難場所、避難経路を選定いただけるように、進めていきたいと考えております。

以上です。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

阿部議員。

○2番（阿部裕和君）

海沿いに住んでいる方、山沿いに住んでいる方、同じ地域でも、それぞれ地域によっては、同じ住民でも、それぞれ避難の仕方が異なるということを実感いたしました。

具体的に申しますと、高台へ避難が必要な人、垂直避難でいい人、避難の必要がない人、また、原則徒歩での避難となっていますが、車を使わなければ5分以内に避難場所、あるいは高台に行けない人、今でも自身が取べき行動に不安を抱えている方もいると思います。混乱を最小限に抑えるためにも、改めて自主防災組織や自治会をはじめとした市民に対し、それぞれが取べき行動について、アドバイス及び周知していくお考えはありますでしょうか。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

竹田消防長。〔消防長 竹田健一君登壇〕

○消防長（竹田健一君）

お答えいたします。

今回の地震を受けて、市民の皆さん非常に経験と言ったらちょっと語弊あるかもしれませんが、そういったところで皆さんやっぱりこの地震を受けて、避難の必要性というものを感じ取ったというふうに、私、受け止めております。このタイミングを逃せば、また時間が経過していけば、地震・津波に対する避難というものを忘れるといえますか、そういったことにならうかと思っております。

で、このタイミングというのが非常に大事だと思いますので、一つ一つではございますが、取組を進めてまいりたいと考えております。

以上です。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

阿部議員。

○2番（阿部裕和君）

6月には、今回の能登半島地震を想定した訓練を予定しているということでしたが、今までの訓練というのは行政と地区住民とやっていたと思うんですけれども、今回、田沢小学校避難いたしました。今回の地震を受けて、学校関係者から、地域と行政で今は訓練してるんだけれども、学校も入って三者で取り組んでいくのはどうかというふうにお話ありました。学校の先生、いろんなところ行かれとるんで、県内のあそこでは学校も入ってこういうふうやってるよというふうなアドバイスも頂きましたが、今後、市内のほぼ小学校が、多分、津波避難の指定場所になってると思うんですけれども、今後、学校も含めて訓練していくこと、市としてはいかがお考えでしょうか。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

竹田消防長。〔消防長 竹田健一君登壇〕

○消防長（竹田健一君）

お答えいたします。

ご提言ありがとうございます。やっぱり小学校もそうですし、また、事業所等も皆さん加わった訓練をすることが大事かと思えます。

そんな中で、以前、小学校にお声がけして、実際、防災訓練のときに参加いただいた、少数ではございましたが参加いただいた、あるいは地区の訓練に参加してくださいといったことで取り組んだこともございます。そんな中で今のご提言、お聞きいたしましたので、また訓練に取り入れるよう進めてまいります。

以上です。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

中村企画定住課長。〔企画定住課長 中村淳一君登壇〕

○企画定住課長（中村淳一君）

大変申し訳ございません。先ほど翠ペイの質問の際に、贈答用のカードの発行を2次元コードがついたもので、そのお店で、そういう読み取るお店でしか使えないというお話をさせていただいたんですけれども、そのコードを、スマホアプリ会員の皆さんは、そのコードを読み込んで使えるタイプにしていくように検討を進めているところでございます。

失礼いたしました。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

阿部議員。

○2番（阿部裕和君）

承知いたしました。ありがとうございました。

○議長（松尾徹郎君）

以上で、阿部議員の質問が終わりました。

暫時休憩いたします。

再開を15分といたします。

〈午前11時10分 休憩〉

〈午前11時15分 開議〉

○議長（松尾徹郎君）

休憩を解き、会議を再開いたします。

次に、田中立一議員。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

田中議員。〔12番 田中立一君登壇〕

○12番（田中立一君）

市民ネット21、田中立一でございます。

発言通告にのっとり、一般質問を行います。

1、能登半島地震の検証と今後の対応について。

1月1日の能登半島地震では、糸魚川市内も最大震度5強を観測する地点もあり、各地で甚大な被害が発生した。

いまだに余震と見られる揺れも続いており、さらに「佐渡沖には今回の地震で動かなかった断層もあり、今後大きな地震が発生してこの断層が動いた場合、非常に短時間で大きな津波が寄せる可能性がある」と警告を発している専門家もいる。

今回の地震を検証し、今後の地震とそれに伴い発生する津波への対応に備え、どのように取り組むのか以下伺う。

(1) 警報の発令について。

① 避難指示について、今回発令しなかった理由を伺う。

② 避難指示発令の基準見直しと対応を明確にすべきと思うが考えを伺う。

(2) 公共施設の耐震性及び安全性について。

① 公共施設の耐震調査はできているか。特に地震及び津波対応で指定されている避難場所と避難所についてはどうか伺う。

② 今回の地震で課題となっている液状化について、発生する可能性があると思われる土地の把握とその地盤調査に対する考えを伺う。

③ 同じく課題となっている擁壁の「空積み」について、同様の調査を行うか考えを伺う。

(3) 避難場所及び避難所について。